



おもちゃライブラリーにて



令和3年6月20日

第118号

発行 油縄子学区コミュニティ推進会

事務局 油縄子交流センター

TEL (38) 7531

http://www.net1jway.net/c-yunago/index.html

令和三年度

開始のご挨拶

油縄子コミュニティ推進会

会長 白土敏夫

新緑の候、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

令和三年度のコミュニティ推進会の総会は、新型コロナウイルス対策による人数制限のため、実施できませんでした。議案書を書面にての審議とさせて頂きました。非承認が一通ありましたが、その他の方々の承認が得られ、予定通りスタートすることができました。昨年は、新型コロナウイルスが流行り計画した行事を実施することができませんでした。

今年、環境美化部の違反広告物撤去、福祉部関係の油縄子茶話会、国分茶話会、は

つらつクラブ、おもちゃライブラリーは、計画通り実施できていますが、レクレーション部の計画している盆踊り、運動会並びに青少年育成部、福祉部で計画している行事ができるかどうか心配です。

小学校・中学校においては、校長先生、教頭先生が変わりましたが、運営協議会が軌道に乗るよう協力していきたいと思えます。

今後の行事に関しましても、例年以上に、皆様方楽しく参加して頂けるよう内容を充実していきたいと思っております。何をするにも皆様方のご協力が必要ですので御協力宜しくお願い致します。

皆様におかれましては、お体に十分注意してお過ごし下さい。



油縄子コミュニティ推進会・行事予定(7月～9月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	わくわくクラブ	未定
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	油縄子広報紙	6月20日・9月20日
おもちゃライブラリー	毎週火曜日	わんぱくビレッジ	未定
国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日	盆踊り	8月1日
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日	敬老会	9月17日
親子ふれあい教室	未定		

令和三年度

油繩子学区コミュニティ推進会の役員御紹介

総会はコロナ禍により開催できませんでしたが、書面審議より次の方々が承認されました。主な役員を紹介いたします。

尚、新任者は氏名の頭に○を付けました。

◎会長 白土敏夫

◎副会長 深谷政幸

風間康子
根本弘道

◎監事 黒澤修一

駒木根 進

◎総務企画部

部長 照井 修

◎防災部

部長 伊藤 茂

副部長 嶋崎 一成

和田 敏

○関 猛

◎環境美化部

部長 ○嶋崎 治

副部長 泉 俊明

◎レクリエーション部

部長 根本弘道

副部長 結城秀郎

上久保正之

○村田智浩

高島康幸

◎青少年育成部

部長 福田 孝

副部長 矢板恭介

和田美紀

御代友幸

◎調査広報部

部長 幡 敏見

副部長 大西 欣四郎

◎福祉部

部長 風間康子

副部長 樫村 均

○鯨岡邦水

◎顧問

嶋崎 敏

益子 功喜

島崎 伸彌

◎事務局

事務局長 照井 修

事務局長 伊藤 茂

事務局長 樫村 均

幡 敏見

上久保正之

泉 俊明

黒木まゆみ

佐藤恵子

黒澤優子

大森法子

小澤美紀

◎地域福祉推進員

照井 修

風間康子

佐藤恵子

千葉恵子

伊藤 茂

樫村 均

幡 敏見

民児委員のご紹介

今年の油繩子学区(地区)の民児委員及び主任児童委員の氏名と担当地区を紹介いたします。

風間康子

鮎川町三丁目、四丁目全部

(代行)

鮎川町一丁目全部

深谷裕子

鮎川町二丁目全部

(代行)

鮎川町六丁目一〜三番

十八〜二十二番

千葉恵子

鮎川町五丁目一〜十一番

黒澤由子

鮎川町五丁目十二〜十六番

六丁目六〜九番

(二〜十号除く)

六丁目十、十一番

(二〜六号除く)

益子きよ

鮎川町六丁目四、五番、

十一番(一〜六号)

十二〜十七番

木名瀬 紀子

諏訪町一丁目一〜三番

十一〜十三番

鯨岡邦水

諏訪町一丁目四〜十番

小泉玲子(新任)



桜川町三丁目三〜十番一

黒澤 由美子(新任)



多賀町四丁目四〜六番

五丁目四〜十番

白土由子

国分町一〜三丁目全部

小林 紀子

主任児童委員

新任のあいさつ

環境美化部部长

嶋崎 治

このたび環境美化部長を努めさせて頂くことになりました。環境美化部は、違反広告物の撤去、空缶、空

瓶、ペットボトル、タバコの吸いながら等の回収活動ほか「鮎川をきれいにする会」に協力しています。今後とも、皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。



学校だより



褒める・認める・
勇気づける

油縄子小学校 校長 窪 木 隆 之

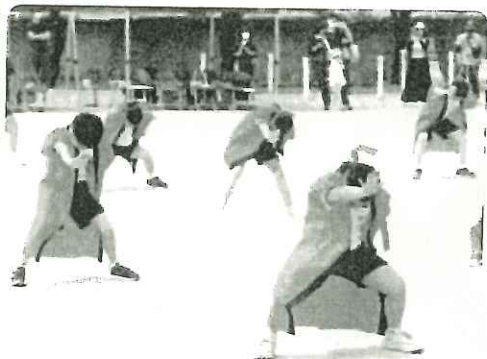
令和三年度は、子どもたちの声が響き、笑顔があふれる生活でスタートしました。昨年度の休校からの出発とは、大きな違いがあることに感謝をし、学校教育を推進しております。それだけに、二〇四名の児童の笑顔が輝く日々をつくっていかねばなりません。

本校では、「児童一人一人の自己有用感を高める『褒める・認める・勇気づける』」を組織目標として、児童の「いいところ」を伸ばす教育の実現を目指しています。

「油縄子小学校教育プラン」では、目指す学校、児童の姿として、「油縄子小じまんのあいいうえお」を掲げています。①か
るいいさつ②いこのばそう③つくしい学校④ほんい
つぱい⑤がおいつぱい⑥もいやりをもとう これらの目標に
向かって頑張る児童たちは、常に生き生きとした表情で、日々
の生活を送っています。

その児童たちを「褒める・認める・勇気づける」を全職員
で学校一丸となって進めていくことで、児童の「いいところ
ばそう」につなげたいと思います。

コロナ禍で教育活動の維持が難しい中、地域のみなさん
ご理解とご協力を得て、よりよい教育活動を実践していき
たいと思います。今後も皆様方のご理解とご協力をよろしくお
願いいたします。



夢と誇りをもって、
共に学び共に育つ
多賀中生の育成を目指して

多賀中学校 校長 高 橋 秀

今年度、多賀中学校長として赴任しました高橋秀治と
ます。伝統ある多賀中学校の校風を重んじながら、温か
間関係を基盤として、生徒が生き生きと主体的に活動で
学校づくりを進め、生徒の健やかな成長のために微力なが
を尽くしていきたいと考えております。今後とも、保護者
様、そして地域の皆様のお力添えをいただき、より豊かな
験を通して、生徒一人一人の成長を手助けしていきたいと
ますのでご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたしま

コロナ禍の中スタートした令和三年度は、学習指導要
全面実施及び学校運営協議会の本格実施など市内の中学
としては大きな節目と言えるチャレンジの年です。学習
活において、「対話的・協働的な学び合い」や「個別最適
び」、安心できる「居場所」としての学校の役割が求めら
中、多賀中生として「共に学び共に育つ」意識をもって
助言をすすめるとともに、教職員が常に生徒や保護者の
の話を傾聴し、相手の立場に立った声かけができるよう
けていくことが大切であると考えております。

新入生を迎え、まもなく二ヶ月が立ちますが、多賀中
ンダードともいえるべき「元氣な挨拶、礼儀正しさ、本気
り組む態度」は、しっかりと受け継がれています。子ども
ちの朝の元氣な挨拶は元氣をもらえます。また、現在、総
体育大会に向け運動部の活動がより一層、活発になって
した。これまで多賀中生が代々築きあげてきた数々の実績
継承するとともに、創意ある教育活動を進めることで、未
を見据え、たくましく主体的に行動できる生徒を育て、夢
くりの応援をしていきたいと考えております。今後とも本
の教育活動にご理解、ご協力をお願ひいたします。

油繩子交流センター 運営委員会開催について

令和三年四月二十五日(日)十時から交流センターにおいて運営委員会が行われました。今年度の油繩子交流センター運営委員会の委員は二十四名です。

本運営委員会では、令和二年度の事業報告及び決算報告、令和三年度の事業計画及び予算の審議を行い、その結果委員の皆様へ承認されました。今後ともよろしくお願いいたします。



(照井 修)

令和二年度 清掃功労者表彰

油繩子コミュニティ推進会として日頃地域の環境美化活動に貢献されている左記の高橋さんに清掃功労賞として日立市市長より感謝状贈呈されました。今後ともよろしくお願いいたします。

高橋 功氏(鮎川町一丁目)



違反広告撤去と ゴミ拾い

先日(五月三十日)早朝より学区内の違反広告の撤去や歩道上のゴミ拾いを実施しました。

違反広告は皆無でしたが、小さい紙くずや空缶、空ビン類、タバコの吸い殻が少なからずありました。

ゴミの総量は以前と同じくらいであると感じました。

コロナ禍により出歩く人が少なくなっているにもかかわらずゴミの量が減っていませんでした。

集めたゴミは皆できれいに分別作業を実施して処分を行いました。



(島崎 治)

ゴミ皆無は難しいかもしれませんが、習慣付けでなくなるかなとも思います。

編集後記

先日、所作なく庭を眺めておりましたら薄緑に縁どられた鮮やかな白葉の一群が目にとまりました。昨秋移植後手入れもしなかつたので枯れてしまったと思っていた擬宝珠でした。逆境に耐え見事な復活です。

さて寄稿にあたり、約一年前の広報紙を読み返してみました。新型コロナウイルスによる肺炎が蔓延し、世界経済に大きな影を落とそうだとあり、一年後の現在は、正にその通りであり飲食業界、観光業界に止まらず広く影響を受け、日本の昨年度GDPは前年度比でマイナス四・六%の空前の落ち込みとなりました。今がまさに逆境の時でしょう。人間にも、擬宝珠のような生命力が欲しいものです。

いずれにせよ私たちはコロナ禍という逆境に耐え、人間が持つ知恵を絞ってなんとかこの困難を乗り切っていかなければいけないと思います。

(榎村 均)

犬の糞尿 禁止

飼主の皆さんへ
フンガイされない
楽しい散歩を!!

